

浜 松 市
博 物 館
だ よ り

- ・館長あいさつ
- ・博物館リニューアル構想
- ・展示紹介 テーマ展「天竜川西岸の古墳時代」
- ・トピック



辺田平1号墳出土埴輪

テーマ展「天竜川西岸の古墳時代」

会期：令和6年6月22日(土)～9月16日(月・祝)

休館日：月曜日（休日の場合その翌日）及び6月26日（水） ※7月1日（月）、8月13日（月）は開館

観覧料：大人 310 円、高校生 150 円（中学生以下、70 歳以上、各種障がい者手帳をお持ちの方とその介添者 1 人は無料）

令和6年（2024）4月から博物館長をつとめている鈴木一有と申します。浜松市博物館は、今年度から組織上、独立した「課」としての位置づけに変わりました。今までは、市民部文化財課の傘下でしたが、この度の組織改編によって、より独自性を発揮しやすくなりました。この改革を通じ、博物館の管理運営体制を強化してまいります。現在、とくに重点的に取り組む事業は、蜷塚遺跡の再整備と博物館リニューアルの検討です。

蜷塚遺跡は、昭和30年（1955）に始まる発掘調査とその直後の整備を経て現在に至ります。遺跡は昭和34年（1959）に国の史跡に指定され、復元建物や貝塚保存施設を整えるとともに、出土品の展示施設を建設しました。昭和57年度（1982年度）に園路工事がなされ、ほぼ現在の状態になりましたが、遺跡公園の基本的な姿は、昭和30年代に出来上がったものといえます。

遺跡の整備が始まってから、すでに60年が経過しようとしています。いっぽう、この間に縄文時代の研究は飛躍的に進みました。全国で重要な発見も相ついでいます。蜷塚遺跡は、貝塚や住居が環状に巡る形状をしています。類似した特徴をもつ集落は東日本地域を中心に数多く知られるようになり、海や水場（湧水地や小川など）といった生活に欠かせない周囲の環境に注意が向くようになりました。

また、自然科学的な研究方法を含め、縄文時代にまつわる様々な研究が進み、蜷塚遺跡についても再評価できるようになっています。

今後は、こうした最新の研究成果をふまえ、蜷塚遺跡にかかわる調査研究を充実させ、再整備事業につなげるとともに、その成果を今後実施する博物館リニューアルにも活かしてまいります。



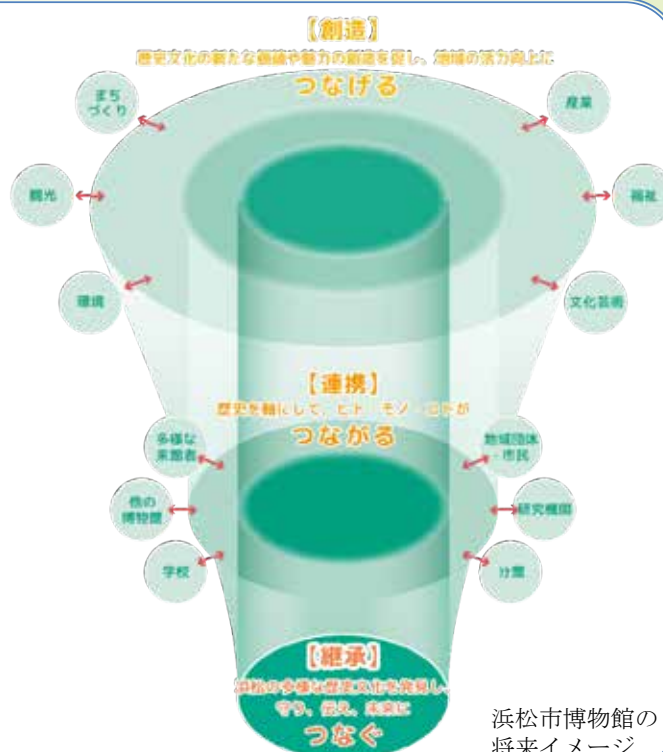
史跡蜷塚遺跡の整備後イメージ図

浜松市博物館リニューアル基本構想を策定しました

当館は、本年度で開館から45年が経過し、老朽化や収蔵スペースの不足などが課題となっています。また、社会の様々な状況が変化の中で、令和4年に博物館法が改正され、博物館に求められる機能や役割は増えています。

そうした中、当館では令和5年度にリニューアル基本構想を策定しました。この構想では基本理念を「つなぐ・つながる・つなげる博物館」と定め、博物館の基盤機能の向上を柱としながら、さまざまな主体との連携により、歴史や文化の新たな価値や魅力を創造し、地域の活力向上につなげていくことを目指しています。

基本構想及び概要版は、当館ホームページに掲載されておりますので、ご覧いただければ幸いです。



浜松市博物館の将来イメージ

展示紹介 テーマ展「天竜川西岸の古墳時代」

会期：6月22日(土)～9月16日(月)

天竜川平野に面した三方原台地の縁辺部や丘陵には、発掘調査などで多数の古墳の存在が知られています。また、平野部を中心に、古墳時代の生活や生業をうかがうことのできる遺跡も確認されています。本展では、それらの豊富な出土遺物や調査成果を展示しながら、当時の地域社会や文化について紹介します。

築かれた首長墓 天竜川西岸域で最初の首長墓は、4世紀後半に築かれた**赤門上古墳**（浜名区内野）です。全長56.3mと天竜川西岸域最大の前方後円墳で、副葬品の**三角縁神獣鏡**はヤマト政権から配付されたと考えられており、畿内との強い関係性がうかがえます。

5世紀代を代表する首長墓として、**千人塚古墳**（中央区有玉西町）が挙げられます。5世紀半ばに築かれた直径49mの市内最大の円墳で、造り出しを伴います。埋葬施設からは甲冑や刀剣など鉄製の武具や農工具が豊富に出土しており、軍事的な色彩の強い被葬者像が浮かび上がります。

5世紀後半には、小型の前方後円墳が増加し、ヤマト政権の影響力が地方の細部に浸透してきたことがうかがえます。**辺田平1号墳**（浜名区染地台六丁目）は5世紀末に築かれた全長20mの小型前方後円墳です。多数の形象埴輪が出土しており、その中でも見返りの**鹿形埴輪**は希少な例として注目されます。

渡来文化と横穴式石室 5世紀代には、朝鮮半島からさまざまな文化や技術が渡来し、当地域にももたらされるようになります。**二本ヶ谷積石塚群**（浜名区染地台五丁目ほか）は、三方原台地東縁の谷に立地します。積石塚は朝鮮半島にみられる墓制であり、渡来系集団の墓と考えられます。

古墳の埋葬施設である横穴式石室も新たに渡来した墓制であり、当地域でも6世紀前半から**興覚寺後古墳**（浜名区宮口）など首長級の古墳に導入されはじめ、古墳自体の数が爆発的に増加する6世紀後半以降には、ほぼすべての古墳に用いられて定着します。その他、須恵器生産や乗馬の風習など、この時期に当地へもたらされた新たな文化・技術にかんする遺物を紹介します。

古墳時代の生活 弥生時代に天竜川平野の微高地に点在していた集落は、古墳時代を迎えると衰退し、天竜川西岸域における集落の様相は不明瞭となります。そうした中でも、中央区恒武町付近には古墳時代の遺跡が集中しており、**山ノ花遺跡**の調査で河川跡から出土した大量の遺物は、当時の生活や社会のようすを伝えてくれます。



赤門上古墳出土三角縁神獣鏡



千人塚古墳出土遺物



二本ヶ谷積石塚群東谷2号墳



興覚寺後古墳横穴式石室



山ノ花遺跡河川跡遺物出土状況

関連事業

■ ギャラリートーク

日時：6/22（土）・7/21（日）10:30～11:00

■ 講座「はままつ古墳時代 ～天竜川西岸域を中心に～」

日時：8/4（日）10:00～12:00

■ 現地見学会「内野古墳群をめぐる」

日時：9/14（土）10:30～12:30

行先：赤門上古墳・二本ヶ谷積石塚群・稲荷山古墳

■ ミニシンポジウム

「天竜川西岸の古墳×浜名湖北岸の古墳」

日時：8/31（土）10:00～12:00

■ 夏休み体験館コラボ企画

① 鹿形埴輪のペーパークラフト

日時：8/10（土）13:15～15:30

② 銅鏡風ミニ鏡づくり（三角縁神獣鏡）

日時：8/11（日）・12（月・祝）9:30～、13:30～の2回

③ 鹿形埴輪ギャラリートーク

日時：8/13（火）・15（木）13:30～14:00

申込方法や詳細は、当館ホームページまたはチラシでご確認ください。

トピック 活動報告、事業のご案内など

蜷塚遺跡パンフレットを作成

博物館、文化財課、地域遺産センターの3か所で、5月1日から配布を開始しました。蜷塚遺跡の概要や地形、遺構や遺物とこれまでの調査成果について簡潔にまとめています。

【A4判4ページ フルカラー】



GW 体験館を開催

5月3～6日の4日間で開催して、803人の参加がありました。勾玉や鏡づくりなどの体験のほか、蜷塚遺跡や常設展のガイドツアー、クイズラリーも行いました。



博物館ボランティア説明会を開催

4月21日に開催し、新たに8人の方が登録されました。今後、研修を受けながら、体験学習の補助やガイドなどで活躍していただく予定です。



「市民ミュージアム浜北巡回展」を開催中

改修工事により長期休館している市民ミュージアム浜北の所蔵資料の一部を各地で巡回します。浜松市博物館では、コンコースにて9月23日まで開催中です。



「野島青茲展 2024」を開催

細江町出身の日本画家野島青茲の作品を、4月27日～6月9日に姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館で展示しました。青茲の生家である吉野屋との連携で展示会を同時開催しました。



第8回はまはく講座

「近世の有玉－高林家とその周辺－」を東行政センターで開催

開催日時 7月27日(土) 13:30～15:00 (要申込)
近世の有玉地域について、高林家の史料をはじめとした古文書等の最近の調査成果を紹介します。

博物館の事業・活動予定

令和6年6～9月

月	休館日	展示（本館）	展示（分館等）	講座・体験学習・その他
6	3(月)・10(月) 17(月)・24(月) 26(水)	テーマ展 天竜川西岸の古墳時代 6月22日～9月16日	水窪民俗資料館 パネル展 家康伝承と浜松 天竜区編 ～8月25日 春野歴史民俗資料館 巡回展 はかる 6月8日～9月8日	22(土) テーマ展ギャラリートーク 23(日) ボランティア研修
7	8(月)・16(火) 22(月)・29(月)	市民ミュージアム浜北巡回展 ～9月23日	舞阪郷土資料館 企画展 海水浴のはじまり 6月15日～9月1日	1(月) 観覧無料(市制記念日、特別開館) 13(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 13(土) 江戸時代の絵図を見て城下町を学ぼう 21(日) テーマ展ギャラリートーク 27(土) はまはく講座「近世の有玉－高林家とその周辺－」
8	5(月)・19(月) 26(月)			3(土) 4(日) 社会科自由研究アドバイス 4(日) はまはく講座「はままつ古墳時代 ～天竜川西岸域を中心に～」 10(土) ～18(日) 夏休み体験館 10(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 19(火) ～25(日) 博物館実習 21(水) 観覧無料(県民の日) 蜷塚遺跡ガイドツアー 31(土) ミニシンポジウム「天竜川西岸の古墳×浜名湖北岸の古墳」
9	2(月)・9(月) 17(火)・24(火) 25(水)・30(月)			14(土) 現地見学会「内野古墳群をめぐる」 14(土) かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし 21(土) まが玉づくり体験

催し物等は、変更・中止・追加される場合があります。申込方法や詳細情報は、当館ホームページやSNSでご確認ください。

浜 松 市 博 物 館

だ よ り

Vol.43 No.1 通巻155号 2024年6月発行
静岡県浜松市中央区蜷塚四丁目22-1 電話 053-456-2208
<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku//index.html>

HP

